

実務証明書

消せるボールペン、鉛筆での記入不可。訂正箇所には公印での訂正印が必要です。
裏面の【記入例】および別紙「作成にあたっての注意事項」を参照のうえ、証明者が記入し、作成してください。(HPから印刷可能です。)

勤務者氏名	生年月日	<input type="checkbox"/> 昭和 <input type="checkbox"/> 平成	年	月	日
-------	------	---	---	---	---

勤務施設

複数の施設における勤務期間・勤務時間を合算する場合は、それぞれの施設ごとに証明書(本様式)が必要になります。

勤務施設名 <small>注意1</small>	※1 認可外保育施設の場合、本用紙と併せて、「特例制度対象施設証明書」が必要です。 ※2 法人・自治体の場合は、勤務施設名も必ず記入してください。				
勤務施設所在地					
電話番号	—	—	FAX	—	—
※本証明書についての問合せ先を記入					

勤務経験

幼稚園教諭免許取得後の勤務期間	勤務期間が複数に分かれる場合は本様式をコピー(HPから印刷)するか、別紙に記入し必ず別紙にも公印を押印してください。 自: <input type="text"/> 昭和・平成・令和 年 月 から 至: <input type="text"/> 昭和・平成・令和 年 月 <input type="text"/> 現在勤務中 現在勤務中の場合でも年月を記入してください。	※以下の期間の勤務は記入しないでください。 ●認可等年月日注意2より前 ●受験申請期限より後 ●証明日より後の勤務(勤務見込み等)
上記勤務期間の総勤務時間数	いずれか1つに✓を記入してください。(✓なし、複数✓は不可) <input type="checkbox"/> 4,320時間以上 <input type="checkbox"/> () 時間	※4,320時間に満たない場合、必ず総勤務時間数を記入してください。 注意: 1日8時間×週5日勤務、週40時間等の記入は不可。

上記勤務者は、**幼稚園教諭免許状取得後**、上記の**特例制度対象施設**注意1(認可後注意2)において、上記のとおり**実務経験**注意3を有する者であることを証明する。

証明日	施設名(証明施設) <small>注意4</small>	公印 ※個人印不可 注意5
令和 年 月 日	施設長名(証明者) <small>注意4</small>	

注意1:裏面、「特例制度対象施設一覧」参照

注意2:裏面、「認可等年月日」について参照

注意3:主たる業務が児童の保護または援護もしくは幼児の教育(保育)に直接従事していること。事務職等で児童または幼児と直接携わらない勤務は該当しません。
注意4:施設が廃園している場合、当該施設の設置者(法人・自治体)が存続していれば証明が可能です。また統合等によって事務を引き継いだ施設・団体等が証明できる場合は、引き継いだ施設・団体の長による証明も可能です。いずれも難しく証明ができない場合は、その勤務を勤務経験とすることはできません。

注意5:認可外保育施設以外の施設で個人印を使用している施設は事前に連絡してください。

【特例制度対象施設一覧】（詳しくは手引きP18参照）

- ① 幼稚園
- ② 認定こども園
- ③ 利用定員20人以上の認可保育所（認証保育所・認定保育所は認可外保育施設となります）
- ④ 平成27年4月以降に認可された小規模保育事業（C型を除く） ※地域型保育事業
- ⑤ 平成27年4月以降に認可された定員6人以上の事業所内保育事業 ※地域型保育事業
- ⑥ 公立の認可外保育施設（国、都道府県、市町村が設置する施設であって、児童福祉法第39条第1項に規定する業務を目的とする施設）
- ⑦ 離島その他の地域において特例保育（子ども・子育て支援法第30条第1項第4号に規定する特例保育）を実施する施設
- ⑧ 幼稚園併設型認可外保育施設
- ⑨ 認可外保育施設指導監督基準を満たす旨の証明書が交付された認可外保育施設
 → 「特例制度対象施設証明書」も必要（手引きP20のQ9参照）
 ※「認可外保育施設指導監督基準を満たす旨の証明書」が交付される以前の期間（平成16年以前）の勤務は対象外です。

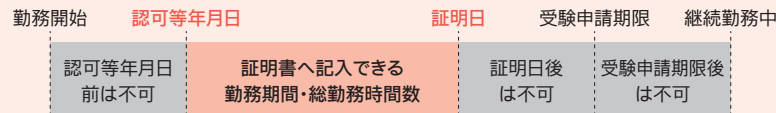
記入例

● 訂正印（公印）は必ず押印してください。

勤務施設	複数の施設における勤務期間・勤務時間を合算する場合は、それぞれの施設ごとに証明書（本様式）が必要になります。		
勤務施設名 <small>注意1</small>	学校法人△△学園 ○○認定こども園 <small>※1 認可外保育施設の場合、本用紙と併せて、「特例制度対象施設証明書」が必要です。 ※2 法人・自治体の場合は、勤務施設名も必ず記入してください。</small>		
勤務施設所在地	東京都○○区○○○X-X-X		
電話番号	03 - XXXX - XXXX	FAX	- -
	<small>※本証明書についての問合せ先を記入</small>		
勤務経験	勤務期間が複数に分かれる場合は本様式をコピー（HPから印刷）するか、別紙に記入し必ず別紙にも公印を押印してください。		
幼稚園教諭免許取得後の勤務期間	自：昭和・平成・令和 29 公印 3 月 から	<small>※以下の期間の勤務は記入しないでください。</small> ●認可等年月日注意2より前 ●受験申請期限より後 ●証明日より後の勤務（勤務見込み等）	
	至：昭和・平成・令和 4 年 1 月 現在勤務中	<small>現在勤務中の場合でも年月を記入してください。</small>	
上記勤務期間の総勤務時間数	いずれか1つに✓を記入してください。（✓なし、複数✓は不可） <input type="checkbox"/> 4,320時間以上 <input checked="" type="checkbox"/> (1,400)時間		
	<small>※4,320時間に満たない場合、必ず総勤務時間数を記入してください。 注意：1日8時間×週5日勤務、週40時間等の記入は不可。</small>		

● 証明日より後または受験申請期限より後の記入不可

例 証明日：令和4年1月20日
 記入期間：平成29年4月～令和4年2月はNG



● 認可等年月日より前の記入不可

例 記入期間：平成26年4月～令和4年1月はNG



【認可等年月日】について

- ① 幼稚園の場合：学校教育法に定める「幼稚園設置基準」による認可（届出）日
- ② 認定こども園の場合：「認定こども園」の認可等年月日
- ③ 認可外保育施設の場合：「認可外保育施設指導監督基準を満たす旨の証明書」の交付年月日（開設日とは異なる）

ご不明な点があれば
 証明書発行者から保育士試験事務センターに
 お問い合わせください。

保育士試験事務センター
 電話 03-3590-5561 / FAX 03-3590-5593
 （祝日を除く月曜日～金曜日の午前9時30分から午後5時30分まで）